

フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.johas.go.jp/>

新年のご挨拶

院長 丸井 伸行

新年あけましておめでとうございます。昨年4月に就任して以来、初めての新年を迎えることができました。皆さまにつきましては中部ろうさい病院を利用いただき誠にありがとうございます。

当院からのお知らせとして、昨年12月に総合内科外来を新たに外来棟南側区域に移転しました。この外来において内科新患者さんを受け付けてまいります。加えて症状がどの科にかかってよいかわからないときは、かかりつけ先生に相談いただき総合内科あてに紹介いただければ診療をさせていただきます。（直接の受診も受け付けております）

次に本年1月に整形外科に3つの専門センターを開設いたしました。脊椎脊髄センター、人工関節センター、大腿骨近位部骨折センターとなります。いずれも整形外科の先生からの紹介をお願いいたします。整形外科以外の先生からの紹介を受けさせて

いただく窓口を整形外科初診外来に設けておりますので、この点もかかりつけの先生と相談いただき受診いただくようお願いいたします。

相談窓口の中で、病気にかかったために現在の仕事を続けるか迷っておられる方に治療と仕事の両立支援相談窓口を設けております。相談されたい方はメディカルサポートセンターへお問い合わせください。

中部ろうさい病院は、今後とも皆さまの健康を守り維持していくために努力してまいります。そのために地域の先生との協力を深め、普段の管理をお願いするとともに、専門の管理を当院で行う「2人主治医制」を今後とも進めてまいります。中部ろうさい病院で受けられる様々な診療の内容を知っていただきスムーズな利用につなげていきたいと考えています。

本年もよろしくお願い申し上げます。

今月号のお知らせ

- ・新年のご挨拶 …………… 院長 丸井 伸行
- ・第21回市民健康セミナーを開催しました
- ・治療と仕事の両立を支援しています
- ・新年を迎えた特別なタイミングでできること

～こころと身体を整えよう～ …………… 松田 史帆

- ・寄附のお願いについて
- ・編集後記
- ・病院の理念・当院の基本方針



第21回市民健康セミナーを開催しました

令和7年12月13日、第21回市民健康セミナーを開催しました。

今年最後の開催となりましたが、約70名もの方にご参加いただきました。今回のセミナーは『健康な心臓を守るために』をテーマとして、当院循環器内科の篠田典宏部長および栄養管理部の森山大介管理栄養士の2人が講演しました。

森山管理栄養士は「知らないと損する！？心臓を守る減塩のコツとヒント」と題して、減塩の必要性や日々の食生活に役立つ「ちょっとした食べ方のコツ」などについてお話ししました。クイズも交えながら、日常生活に取り入れやすい内容をわかりやすく解説し、楽しい講演となりました。

篠田部長は「心房細動について～診断から治療まで～」と題して、不整脈やカテーテルアブレーションについて、動画を交えながら分かりやすく説明しました。普段からちょっとした違和感を見過ごさないよう意識するきっかけとして、脈の測り方の解説も行いました。

参加者の皆さんには熱心にメモを取りながら講演をお聞きいただき、質疑応答の時間には多くの質問をいただきました。

寒さの厳しい中、当院まで足を運んでいただき、誠にありがとうございました。

当日の資料や動画を当院ホームページの「お知らせ（患者さん向け）」に掲載しております。当日、ご来場できなかった方や減塩・不整脈について関心のある方はぜひご覧ください。

こちらからもご確認ください。



第22回市民健康セミナーの開催案内

テーマ：「健康は足もとから～人工関節ロボット手術と歩き続けるための予防ストレッチ～」

日時：令和8年2月28日（土）13時30分～15時 会場：中部労災病院 2階講堂

講演① 「すきま時間にできる、ながら体操」 中部ろうさい病院 理学療法士 山田 美紀

講演② 「中部ろうさいの人工関節手術～ロボット手術と低侵襲手術の両立を目指して～」

中部ろうさい病院 人工関節センター副センター長・整形外科部長 牧田 和也

当院のホームページやチラシ、Lorcle（ロークル）などで

お知らせいたします。こちらのQRコードでも申込みが可能です。

ぜひ、ご参加お待ちしております。



治療と仕事の両立を支援しています

当院では、治療を続けながら安心して働けるように、「両立支援コーディネーター」（MSWなど）がご相談をお受けしています。このようなお悩みはありませんか？

- 「病気になっても、仕事を続けられるのかな…」
- 「仕事を休んだら、生活費や医療費はどうしたらいいのだろう」
- 「治療のこと、仕事のこと、不安がいっぱい…」

治療と仕事の両立に不安を感じていらっしやいましたら、以下の相談窓口をぜひご利用ください。

※当院に通院されていない方のご相談も可能です。

【相談場所】

1Fメディカルサポートセンター
（治療と仕事の両立支援相談窓口）

【相談時間】

月～金（祝日を除く）8：15～17：00

※ご予約いただくと、スムーズにご案内できます。

愛知産業保健総合支援センターの社会保険労務士による専門相談も始まりました！

労働・社会保険制度、人事労務管理の専門家（社会保険労務士）が、より実務的なお悩みにお答えします。（予約制）

実施日 2/10（火）・3/10（火）

※以降も開催予定

いずれも14：30～16：00

相談例

「会社の人事・労務担当者に、どのように話したらよいかわからない」など



【お問い合わせ・ご予約】

メディカルサポートセンター

（治療と仕事の両立支援相談窓口）

電話番号 052-652-5511（代表）

新年を迎えた特別なタイミングでできること ～こころと身体を整えよう～

公認心理師 松田 史帆

「一年の計は元旦にあり」ということわざをご存じですか。“新年の最初に一年の計画を立てることが大切”という意味であり、物事を始めるときにしっかりと計画を立てることがその後の成果や達成感に大きく影響するという意味でもあります。

この計画は必ずしも大きな目標である必要はありません。むしろ日常に無理なく取り入れられる“小さな習慣”のほうが、長く続きやすく、結果的に大きな変化をもたらします。

ゆったりとした呼吸や散歩、楽しいイメージを浮かべるなど、ほんの一瞬でも心地よく過ごせること、リフレッシュできることなど、できることから少しずつチャレンジしてみるのをおすすめします。また元旦や新年は、気持ちをリセットしやすく、未来への意欲が高まる時期で、過去の経験や気持ちを感謝とともに手放し、まっさらな状態に戻すのに良いタイミングです。この特別なタイミングに単なるTODOリストや目標設定でなく、自分の状態を振り返り、「今年はどうな自分でありたいか」を静かに考える時間を持つことは、こころと身体を整えるのに効果的です。一年の計画はその人の健康や幸福を守るための地図とも言えます。地図があれば、迷ったときも立ち戻ることができ、安心して歩みを進められます。今年を自分を大切にするための計画を自分にプレゼントしてみませんか。

2026年の干支は丙午（ひのえうま）です。炎のような明るさや情熱があり、パワフルな年になると言われていますので、こころと身体を整えながら、過ごしていきましょう。

寄附のお願いについて

中部ろうさい病院は、開院以来、名古屋市南部地域の基幹病院として医療を提供してまいりました。

現在、設備や備品の老朽化により、修繕や機器更新が必要な状況です。

皆さまからお寄せいただくご寄附は、救急医療やがん診療をはじめとする幅広い医療の充実に活用させていただきます。また、ご希望の使い道がある場合には、可能な限りその目的に沿って活用いたします。

これからも安心して通える病院であり続けられるよう、職員一同努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



～ 編集後記 ～

新しい年を迎えました。年末は育ちの故郷に帰っていたので、年始に名古屋へ帰る際、最寄りの駅よりも遠い駅まで送ってもらいました。乗ろうと思っていた時間の電車に飛び乗り、「新年早々からついているな」と思っていたのも束の間、まさかの反対方向の電車に乗ってしまい、再び地元に戻ってしまいました。このことは家族には秘密です。 (R.S)

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供